



令和元年 9 月 27 日

## がん患者の将来の妊娠に向けて 公開セミナー 『医療スタッフが知っておきたい：がん生殖医療の実際』を開催

岡山大学病院リプロダクションセンター、岡山大学大学院保健学研究科は、がんと生殖医療ネットワーク OKAYAMA と共催で 10 月 18 日、『医療スタッフが知っておきたい：がん生殖医療の実際』と題した公開セミナーを、本学鹿田キャンパスのマスカットキューブで開催します。

抗がん剤や放射線療法などのがん治療により、卵巣や子宮、精巣などの妊娠に必要な臓器がダメージを受け、機能が低下してしまう場合があります。これに対して、近年、生殖医療技術により将来子どもを持つための能力（妊孕性）を温存することが可能になっています。しかし、医療の進歩によりがんを克服して子どもを持つ方々、あるいは、それを希望する方々が増えている一方で、妊孕性温存方法があることを知らないままがん治療にのぞみ、後悔する患者様もいます。

岡山県では、がん治療を行う医療スタッフと、不妊治療を行う医療スタッフとが互いに連携し、卵子や精子、卵巣自体の凍結保存を望むがん患者がスムーズに生殖医療施設を受診できる体制が整っています。本セミナーでは、この体制の中心となっている岡山大学病院リプロダクションセンターに所属する医師らが、がん患者様の妊孕性温存の実際をお話しします。

特に、白血病や悪性リンパ腫などの血液腫瘍では、抗がん剤治療を開始するまでの時間的余裕はなく、連携や実施方法の効率化が求められています。今回は、その実際について、がん診療、生殖医療、両者の立場から解説します。

岡山県や近県の医療施設をむすんで 2013 年に発足した「がんと生殖医療ネットワーク OKAYAMA」の紹介も行います。

1. 名 称 公開セミナー『医療スタッフが知っておきたい：がん生殖医療の実際』
2. 共 催 岡山大学病院リプロダクションセンター、  
がんと生殖医療ネットワーク OKAYAMA、岡山大学大学院保健学研究科
3. 日 時 2019 年 10 月 18 日(金) 19:00~20:30
4. 場 所 岡山大学鹿田キャンパス マスカットキューブ 3 階講義室  
(岡山市北区鹿田町 2-5-1)
5. 対 象 者 がん患者に接する医師、看護スタッフ、薬剤師、心理士、保健師など、どなたでも参加いただけます。
6. 申 込 方 法 事前申込不要。当日ご参加いただけます。
7. 参 加 費 用 無料 ※車でお越しの方には、  
駐車無料券をお渡しします。

<お問い合わせ先>

岡山大学大学院保健学研究科 中塚研究室  
 がんと生殖医療ネットワーク OKAYAMA  
 岡山大学病院リプロダクションセンター  
 教授 中塚幹也  
 (電話番号) 086-235-6538 (FAX 兼)

